

21 世紀の漢方薬研究を探る - 伝統薬から新しい治療戦略創出へのアプローチ
Kampo Research in the 21st Century: An approach for developing a new therapeutic strategy from traditional medicines

松本 欣三¹, 藤原 道弘² (¹富山大 和漢薬研, ²福岡大 薬学部 薬理)

21 世紀に入り、我が国をはじめ多くの先進国では加速度的に高齢化社会を迎えている。このような中で認知症等の老年性疾患や免疫・アレルギー性疾患などの難治性疾患の治療における伝統薬物・漢方薬の役割に大きな期待が寄せられている。

この期待に応えるべく、近年急速に進展した最先端科学技術の導入・駆使により、漢方医薬学に独特の診断治療プロセスの客観化が進展しているだけでなく、漢方薬・伝統薬物に西洋薬にはない斬新な作用機構も見出されつつある。このような漢方医薬学研究における最近の展開は伝統薬から疾患治療における新しい治療薬の探索や治療法の創出をも可能としている。本シンポジウムでは漢方薬・伝統薬物研究の第一線で活躍されている先生方の独創的な研究アプローチとそこから得られた研究成果をご紹介いただき、21 世紀医療に資する漢方薬研究の方向性を探りたい。